

令和4年度

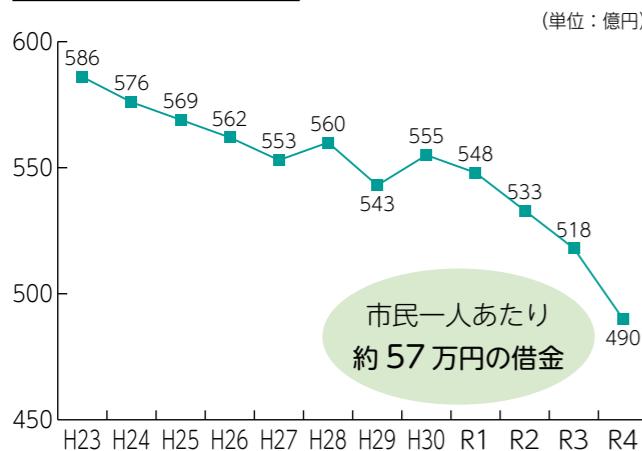
伊賀市 の決算

問い合わせ [問いかわせ]
財政課

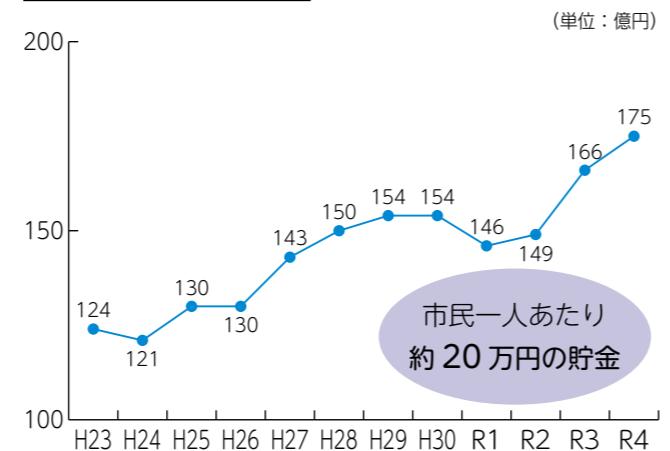
各費目の主な事業

(議会費) 議員報酬・手当等	1億 8,504万円
(総務費) シティプロモーション推進事業	10億 7,828万円
(民生費) 自立支援等給付事業	22億 1,737万円
(衛生費) ごみ中継施設維持管理経費	7億 3,056万円
(労働費) 雇用、勤労者対策事業	4,132万円
(農林業費) 団体営ため池等整備事業	4億 1,690万円
(商工費) 商工振興経費	7億 6,163万円
(土木費) 臨時地方道整備事業	2億 6,859万円
(消防費) 消防団本部管理経費	1億 4,180万円
(教育費) 給食センター管理運営経費	2億 9,901万円
(災害復旧費) 公共土木施設災害復旧事業	7,301万円
(公債費) 市債元金償還金	55億 1,613万円

市債残高（市の借金）



基金残高（市の貯金）



市有財産の状況

区分	土地	建物	主な施設
行政財産	公用財産	97,854m ²	庁舎、消防施設など
	公共用財産	3,717,091m ²	学校、図書館、公営住宅、公園など
普通財産	2,828,488m ²	24,984m ²	上記以外（山林など）
合計	6,643,433m ²	506,564m ²	

特別会計

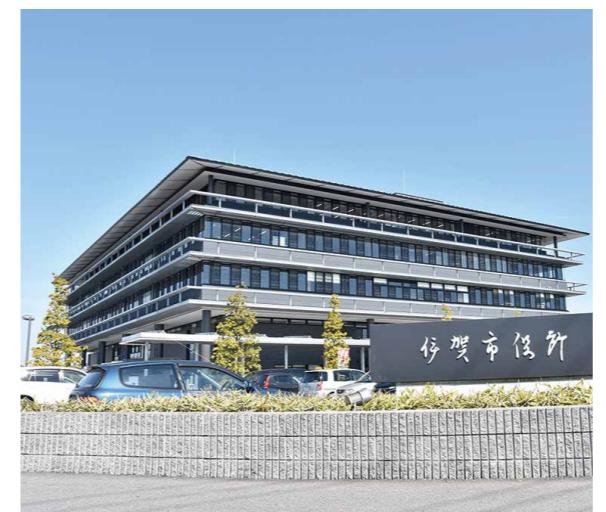
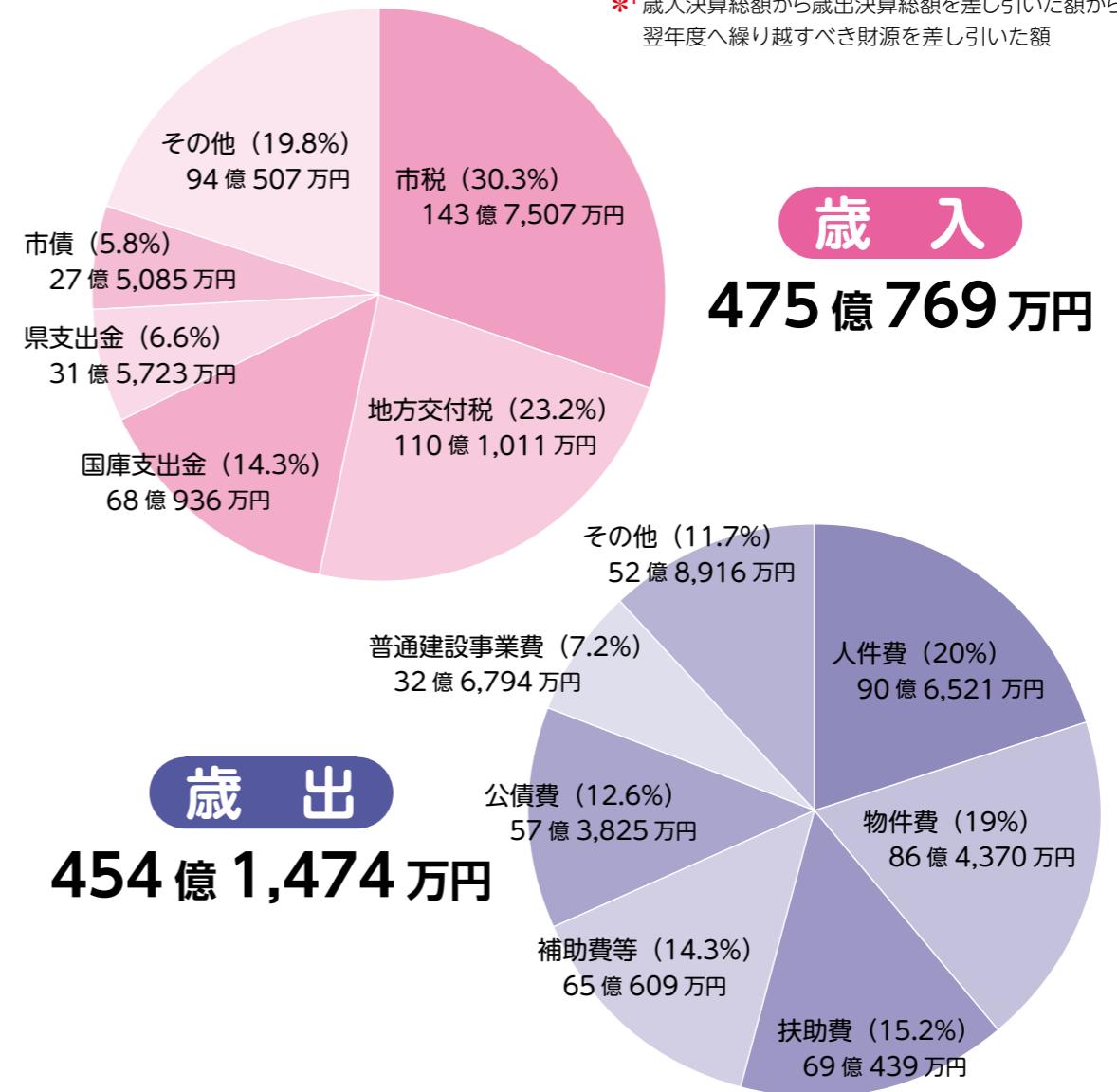
市には、国民健康保険事業など6つの特別会計と2つの財産区会計があります。特別会計全体の基金残高は約19億円で、前年度と比べると約2億円の増、市債残高は令和4年度中に約300万円の償還が完了したため0円です。

区分	会計名	歳入額	歳出額	差引額	基 金
特別会計	国民健康保険事業	87億 4,096万円	87億 2,178万円	1,918万円	7,340万円
	住宅新築資金等貸付	3,163万円	3,163万円	0万円	—
	駐車場事業	4,414万円	4,119万円	295万円	—
	介護保険事業	106億 4,084万円	101億 6,537万円	4億 7,547万円	13億 8,218万円
	サービスエリア	2,886万円	2,772万円	114万円	4,895万円
	後期高齢者医療	13億 254万円	12億 9,917万円	337万円	—
財産区	島ヶ原財産区	3,176万円	3,062万円	114万円	2億 8,451万円
	大山田財産区	1,570万円	1,037万円	533万円	1億 2,471万円
合計		208億 3,643万円	203億 2,785万円	5億 858万円	19億 1,375万円

一般会計

実質収支^{*1}は18億 1,311万円の黒字です

*1歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額から、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額



＊² 基準となる指標は5ページに記載ます。
市債の減少や、当初の見込みよりも市税収入などが増加したこと、地方交付税の増加などにより、令和4年度の実質収支は18億 1,311万円の黒字になりました。これからも健全な財政運営を行っていきたいと思います。
＊端数処理の都合上、決算書の数値と一致しない場合があります。
伊賀市議会9月定例会議で、令和4年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が認定されましたので、その概要をお知らせします。

伊賀市議会9月定例会議で、令和4年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が認定されましたので、その概要をお知らせします。

問 上野総合市民病院病院総務課 ☎ 24-1111 FAX 24-1565

■利用状況 (単位:人)

	令和4年度	1日平均 ^(*)
外来患者数	72,518	298
入院患者数	62,046	170

※外来患者1日平均人数=外来患者数÷243日(年間診療日)

■市債残高 15億9,276万円

■病院事業の決算 (消費税・地方消費税を含む。)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引
病院事業収益	51億6,342万円	51億9,742万円	—	増減額 3,400万円
病院事業費用	50億7,413万円	48億6,121万円	—	不用額 2億1,292万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引
資本的収入	5億2,311万円	3億9,233万円	—	増減額 ▲1億3,078万円
資本的支出	6億8,397万円	5億4,114万円	1億3,991万円	不用額 292万円

上野総合市民病院では、マンモグラフィ装置更新や麻酔器、生体情報モニター、自動尿分析装置などの医療機器を購入し、下機械室各種ポンプ更新工事や手術室系空冷ヒートポンプチラー更新工事など、施設改修を実施しました。経営状況は、昨年度に引き続き経営の効率化などに取り組んだ結果、利益を生じることができました。今後も医療サービスの向上と良質で高度な医療の提供、福祉の増進に努めるとともに、運営の効率化を図りながら、経営改善をさらに進め、市民の負託に応えることができる病院をめざします。

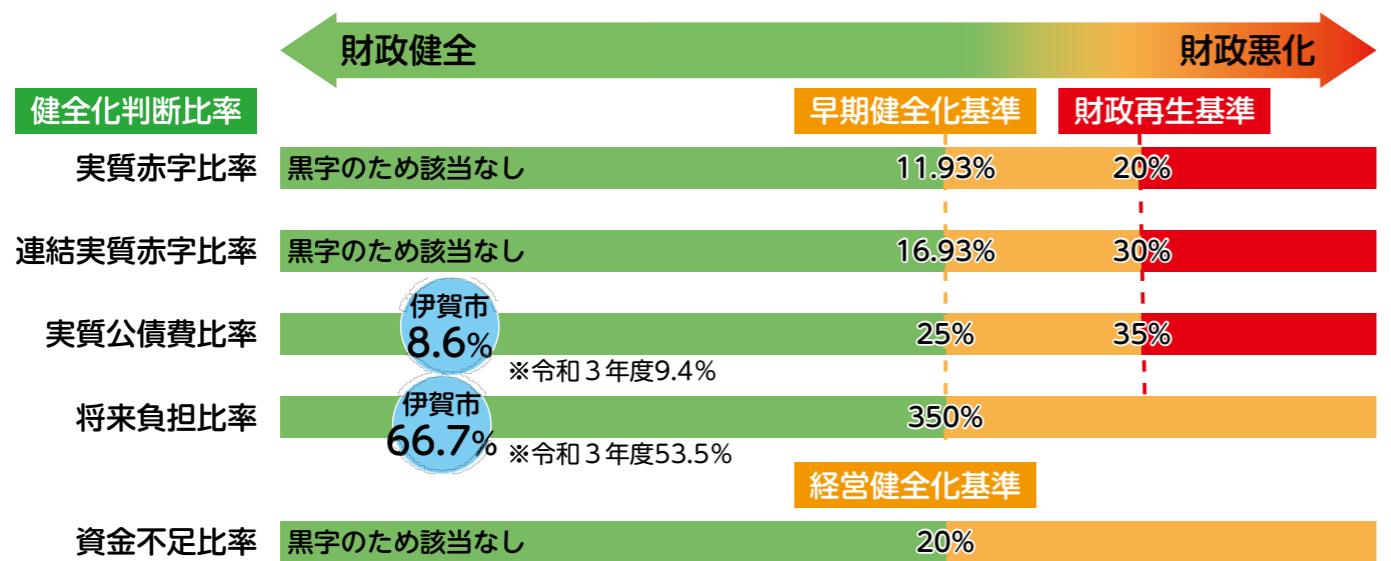
病院事業

伊賀市の財政状況は?

問 財政課

財政運営が健全であるかどうかは、地方公共団体の財政状況を客観的に表す指標として財政健全化法に定められている「健全化判断比率」で判断されます。健全化判断比率は、地方公共団体の赤字の大きさ(実質赤字比率、連結実質赤字比率)や借金返済額の大きさ(実質公債費比率)、将来に負担が見込まれる実質的な負債の大きさ(将来負担比率)を指標化したものです。

実質公債費比率は昨年度数値より改善していますが、将来負担比率は債務負担行為に基づく支出予定額の増加などにより昨年度数値を上回っています。しかし、すべての指標で早期健全化基準・財政再生基準を下回っており、健全な財政状況を維持しています。この基準を超えると、健全化に向けた対策が必要となります。



問 上下水道部経営企画課 ☎ 24-0001 FAX 24-0006

水道事業

陽光台地内などで重要な給水施設配水管事業を実施し、川東、御代、三田地内などは送水管や配水管の更新事業に取り組んでいます。また、小田浄水場監視設備更新工事を実施し、安定して水道水供給できる環境を整備しました。また、原油価格や物価高騰による経済影響を軽減する支援策として、水道基本料金4ヶ月分の減免を行いました。

■給水状況

	令和4年度	令和3年度から増減
給水人口(人)	85,956	▲1,378
給水戸数(戸)	40,122	57
年間総配水量 A(m³)	13,891,500	103,796
年間総有収水量 B(m³)	11,228,497	▲236,204
有収率 B/A (%)	80.8	▲2.4

■市債残高 107億3,985万円

■水道事業の決算 (消費税・地方消費税を含む。)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引
水道事業収益	33億7,396万円	33億7,751万円	—	増減額 355万円
水道事業費用	31億5,835万円	30億3,018万円	0.02万円	不用額 1億2,817万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引
資本的収入	7億1,668万円	7億1,550万円	—	増減額 ▲118万円
資本的支出	22億147万円	20億7,848万円	8,051万円	不用額 4,248万円

問 上下水道部経営企画課 ☎ 24-0001 FAX 24-0006

下水道事業

特定環境保全公共下水道事業では、柘植浄化センター管理棟の耐震工事に着手し、基本計画策定と内水ハザードマップの作成に取り組みました。公共下水道事業では、雨水公共下水道の処理場と中継ポンプ施設の通報装置更新に着手しました。また、島ヶ原処理区統廃合に伴う事業計画の変更を行いました。地区へ統廃合するための管路施設詳細設計を行いました。

■処理状況

	令和4年度	令和3年度から増減
行政区域内人口 A(人)	86,418	▲1,376
処理区域内人口 B(人)	33,139	▲679
処理区域内水洗浄人口 C(人)	28,768	▲209
普及率 B/A (%)	38.3	▲0.2
水洗浄率 C/B (%)	86.8	1.1
年間有収水量(m³)*	3,712,778	▲183,943

※使用料徴収の対象となった汚水量

■市債残高 120億8,554万円

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引
下水道事業収益	25億3,555万円	25億3,856万円	—	増減額 301万円
下水道事業費用	24億2,030万円	22億9,916万円	—	不用額 1億2,114万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引
資本的収入	8億7,955万円	4億4,788万円	—	増減額 ▲4億3,167万円
資本的支出	15億9,657万円	10億9,125万円	4億3,554万円	不用額 6,978万円